



单相3線式 ハイブリッド型 蓄電システムJ1ESS-HBシリーズ

取扱説明書



No.288 Shizhu Road, Tonglu Economic Development Zone,
Tonglu City, Zhejiang province, China.

Tel: +86 0571-56260011

E-mail: info@solaxpower.com

www.solaxpower.com

614.00462.04

この取扱説明書を、しっかりとお読みいただき、正しくお使いください。
また、保証書と共に、大切に保管してください。
この取扱説明書の著作権は、
SolaX Power Network Technology (Zhejiang) Co., Ltd. に帰属します。
すべての企業又は個人は、いかなる形式または、いかなる手段においても、
分割又は、完全に複製（ソフトウェア等を含む）をしてはならない。

目次

1 本書について	01
1.1 適用範囲	01
1.2 本書の対象者	01
2 安全に関する注意事項	02
3 ラベル概要	07
4 製品概要	08
4.1 商品概要	08
4.2 系統構成	08
4.3 製品外観図	11
4.4 室内リモコン各部の名称と働き	13
● 起動時の操作方法	15
● 通常時の使い方・連系運転	15
● コールドスタンドバイ・ホットスタンドバイ	16
● 停電時の使い方・自立運転	16
● 停電時の家電製品の利用について	17
● 復電時の操作	18
5 リモコンの操作方法	19
5.1 システムスイッチ	19
5.2 モードの選択	20
5.2.1 停電モード	21
5.2.2 グリーンモード	22
5.2.3 経済モード	22
5.2.4 安心モード	23
5.2.5 手動モード	24
5.3 システム状態	25
5.4 情報履歴	28
5.5 画面設定	30

5.6 ユーザー設定	32
5.6.1 グリーンモード	33
5.6.2 経済モード	34
5.6.3 安心モード	34
5.6.4 充放電時間帯設定	35
5.6.5 契約電流	37
5.6.6 停電モードミュート設定	37
5.7 詳細設定	38
5.8 ソフトウェア更新	38
6 こんな時は	38
7 保証とアフターサービス	40
8 技術仕様	44
9 故障とトラブルシューティング	46
10 お問い合わせ	53

1 本書について

1.1 適用範囲

本書は、J1ESS-HBシリーズにおける、インバーターの取付け、運転、保守、故障について説明しています。本書をよく読み、安全に関する内容を理解し、機能・特徴を十分に理解のうえ、ご使用下さい。本書は、いつでも読み返すことのできる場所にて保管ください。

-J1ESS-HBシリーズ-

J1ESS-HB58	J1ESS-HB58X
	J1ESS-HB115
J1ESS-HB58-1	J1ESS-HB173

シリーズ番号の説明

例: J 1 ESS - HB 58

① ② ③ ④ ⑤

- | | |
|-----------|---------------|
| ① 販売国 | (J = Japan) |
| ② 接続方式 | (1 = 単相) |
| ③ システムタイプ | (ESS = 一体型) |
| ④ インバーター | (HB = ハイブリッド) |
| ⑤ 電池容量 | (58 = 5.8kWh) |

機種	定格出力	蓄電池搭載容量
J1ESS-HB58	3.0kW	5.8kWh
J1ESS-HB58-1	3.0kW	11.5kWh
J1ESS-HB58X	5.9kW	5.8kWh
J1ESS-HB115	5.9kW	11.5kWh
J1ESS-HB173	5.9kW	17.3kWh



1.2 本書の対象者

本書は、エンドユーザーを対象となります。





2 安全に関する注意事項

- ・ご使用の前に、この「安全に関する注意事項」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・本書では、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ・お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できる場所に必ず保管してください。






誤った取り扱いにて生じる危険とその程度を次の表示で示しています。

	警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重症を負う恐れのある内容です。
	注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う恐れ及び、財産への損害が発生する恐れのある内容です。



本書で使用するマークには、次の意味があります。







	※一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告
	※一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示
	※感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	※分解注意 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告

⚠ 警告・共通



	取付工事・修理・移動・再設置・破棄は、お買い上げの販売店若しくは設置業者に依頼する・不備があった場合、感電や火災のおそれがあります。
	分解・改造をしない ・感電や傷害を負うおそれがあります。
	子供を近づけない ・感電・やけど・火災のおそれがあります。
	重要負荷ブレーカーに金属、紙、水などを差しこんだり、中にいれたりしない。 ・火災・感電・故障の原因となります。
	重要負荷ブレーカーには、灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものは接続しない ・災害時に火災の原因になることがあります。
	重要負荷ブレーカーは、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない ・蓄電池内の電気が不足若しくは蓄電されない状況になると、システムが停止しますので、データ等の破損や紛失の恐れのある機器や、生命にかかわる機器及び医療機器等には、絶対に使用しないでください。
	災害などにより蓄電システムが浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本製品に近づかない ・感電・有害ガスの発生・発熱・発煙・発火・蓄電池から電解液が漏れるなどの危険がありますので、「蓄電システムを停止させる場合」に従って蓄電システムを停止させ、すみやかにお買い上げの販売店若しくは設置業者にご連絡ください。

⚠ 警告・蓄電システム


	蹴ったり、物をぶついたりして、本機に強い衝撃を与えない。 ・変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。
	蓄電システムの上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を置かない ・装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。

	可燃性ガスや引火物を近くに置かない（60cm以内） ・電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。
	吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差しこんだり、中に入れたりしない ・火災・感電・故障の原因となります。
	蓄電池に高圧、大容量の電気が蓄えられているので、取り扱いに注意する ・蓄電システムが運転している時、必ず分電盤とブレーカーを操作しないでください。非常時、室内リモコンの設定画面上の「システムオフ」をタッチし、止めてください。
	煙が出ていたり、変な臭いのする場合には、本製品には近づかず、室内リモコンの設定情報画面上の「システムオフ」をタッチし、蓄電システムを止めてください。 ・そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
	フロントパネルやメンテナンスパネルを開けない ・内部に電圧の高い部分があります。感電の原因となります。
	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない ・機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよびICDの作動に一時的な影響を与える場合があります。


⚠ 注意・共通



	蹴ったり、物をぶついたりして、本機に強い衝撃を与えない。 ・変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。
	室内リモコンを濡れた手で触れたり、濡れた布でふかない ・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意・共通







	点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない ・蓄電池が充電されないため使用できなくなり、電池交換（有償）となる可能性があります。
---	---

取り扱い上のお願ひ・共通

	次のような場所には取り付けない ・蓄電システム <input type="checkbox"/> 標高2000mより高いところ <input type="checkbox"/> 岩礁隣接地域 <input type="checkbox"/> 重塩害地域 <input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ <input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 浸水のおそれがあるところ <input type="checkbox"/> 電界の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 風通しが悪いところ <input type="checkbox"/> 販売店若しくは設置業者で決められていないところ <input type="checkbox"/> 結露および氷結のあるところ ※次の温度範囲以外のところでは、動作を停止する可能性があります。 PCGS使用温度範囲：-25℃～60℃ 電池使用温度範囲：-10℃～55℃ ・室内リモコン <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 温度変化が激しいところ <input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ <input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ <input type="checkbox"/> 電界の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 直射日光が当たるところ <input type="checkbox"/> 次の温度範囲以外のところ 温度：-20℃～70℃
---	--

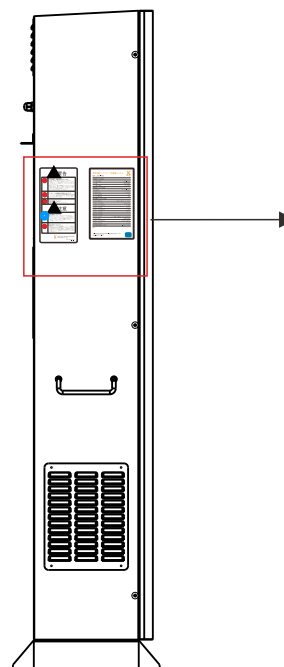
	シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない ・ 製品の変色の原因となります。
	取扱説明書を熟読する ・ ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。

取り扱い上のお願ひ・共通

	装置の近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない ・ テレビの画面が乱れたり、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。3m以上離してご使用ください。 ・ 受信している電波の弱い場所では電波障害を受けるおそれがあります。
	重要負荷ブレーカーには連系時最大30A (JIESS-HB115・JIESS-HB173の場合) ・ 15A (JIESS-HB58の場合) 以上の機器を接続しない ・ 機器の故障の原因となることがあります。
	廃棄処理・リサイクルについて ・ 廃棄する場合は、お買い上げの販売店若しくは設置業者へお問い合わせください。
	吸排気口を塞いだり、吸排気口付近に、荷物を置いたりしない ・ 温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。
	積雪等で吸排気口が塞がらないようにする ・ 温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります
	落雪等で吸排気口が塞がらないよう設置状況により防雪 ・ 雪囲い等の処置を行う ・ 行わない場合、温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。

3 ラベル概要

● 筐体左側面のラベル



① 警告ラベル

単相3線式ハイブリッド蓄電システム	
形式 JIESS-HB58	
実効入力(連続)	DC10~100V
入力電圧範囲	電圧変動範囲
入力最大電流	14A(50Hz)
蓄電容量(定格) (蓄電)	
蓄電容量	DC100V/24V
蓄電電圧	5.84V
最大充電電流	20A
最大放電電流	20A
連続最大出力(交流)	
定格交流電圧	単相3線式 AC 200V
定格出力容量	500VA(600W)
定格出力有効電力	3.8kVA
定格出力電流	14.9A
定格入力有効電力	5.8kVA
定格入力電流	29.8A
直流出力(交流)	
定格出力電圧	単相3線式 AC 100/200V
定格電圧	200V(600W)
定格出力有効電力	1.8kVA(3.0kVA)
定格出力電流	14.9A
蓄電効率(最大出力)	~90% (45°C)

② 性能ラベル

左側面

筐体左側面には警告ラベル、性能ラベル、製造番号ラベルがついています。
警告ラベルには感電、火災などの危険を表示しています。電気従業員以外の方々は蓄電システムへの分解、修理、改造などしないでください。

4 製品概要

4.1 商品概要

J1ESS-HBシリーズは、単相3線式ハイブリッド型蓄電システムです。100Vと200Vの家庭用負荷へ同時に供給が可能です。システム構成には、リン酸鉄リチウムイオン蓄電池とハイブリッド型インバーターが含まれます。

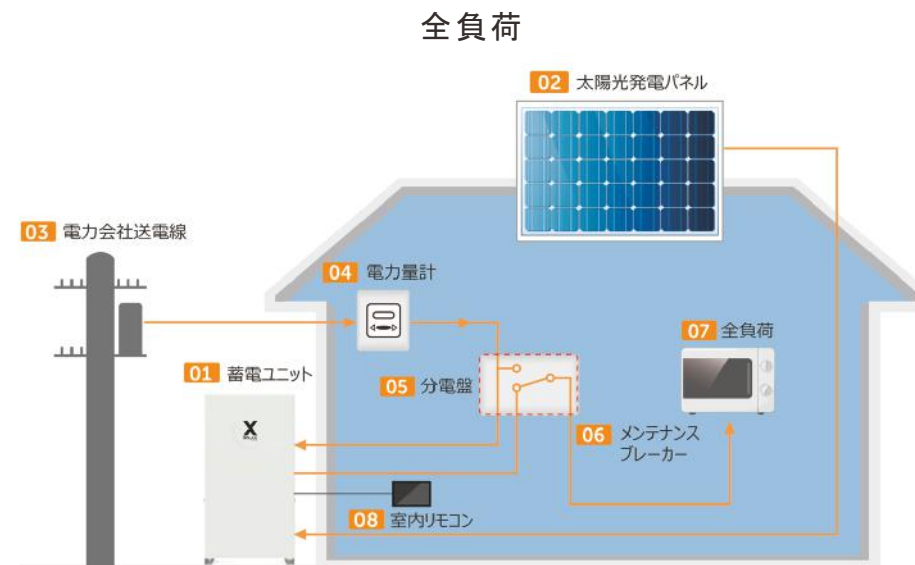
システムは、外部CTを使用して住宅用バスの電流を読み取り太陽光発電パネルで発電した電気を、自家消費用途としてご利用いただけます。

安価な夜間電気を利用し、自動的に蓄電池へ充電し、電気料金の削減を可能といたします。

蓄電システムには3kVAの線形負荷、2kVA未満の非線形負荷を接続できます。

4.2 系統構成

このシステムは、住宅の屋根などに設置した太陽光発電パネルと蓄電池を併用して、暮らしに必要な電気を供給する「ハイブリッド蓄電システム」です。



① 蓄電ユニット

リン酸鉄リチウムイオン電池を搭載し、蓄電ユニット内のインバーターは、太陽光発電パネルとのダイレクト接続を可能とします。太陽光パネルまたはシステムの電力を蓄電し、必要に応じて、蓄電池より放電します。電力会社への売電も可能です。

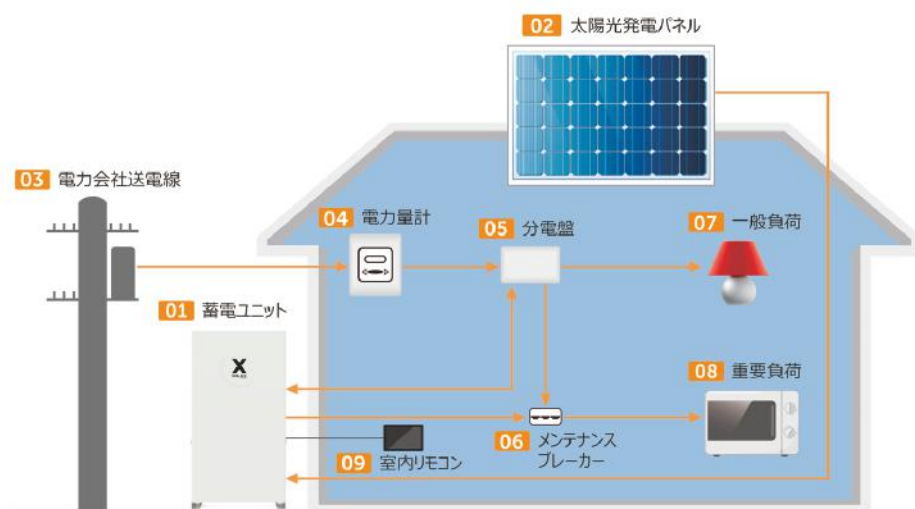
② 太陽光発電パネル

太陽光を受けて電力を造ります。発電した電力は、蓄電システム内のインバーターを通じて、蓄電池に電力を送ります。MPPT回路数は、J1ESS-HB58は、2回路。J1ESS-HB115/173は、3回路です。

③ 電力会社送電線

不足電力を電力会社から購入し（買電）、太陽光発電による余剰電力を電力会社へ送ります（売電）

重要負荷



④ 電力量計

買電用と売電用の2種類があり、電力会社から買った電力（買電）と、電力会社に売った余剰電力（売電）を計量します。

⑤ 分電盤

契約ブレーカー、漏電ブレーカー、連系ブレーカー、メンテナンスブレーカー、重要負荷ブレーカー、重要負荷分岐ブレーカーを内蔵しています。

⑥ メンテナンスブレーカー

重要負荷ブレーカーへの電力供給元（蓄電システム／系統）を切り替えるスイッチです。

⑦ 一般負荷（全負荷）

一般負荷は電力会社に接続されて、システムから独立した一般負荷用の電源です。
全負荷は蓄電システムを利用した電力を使用可能な負荷用の電源です。

⑧ 重要負荷

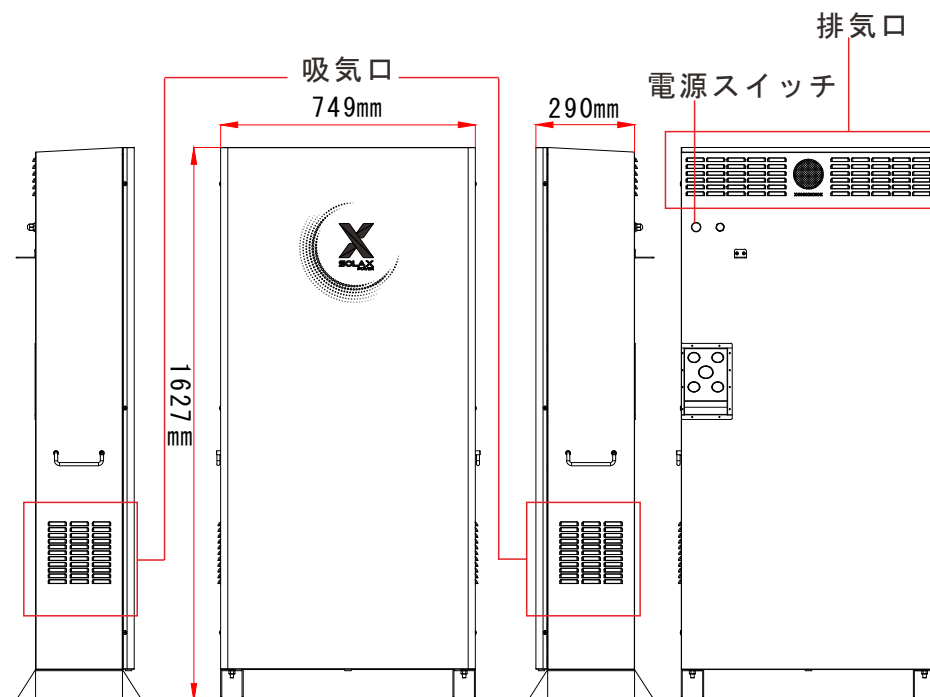
蓄電システムを利用した電力が使用可能な重要負荷用の電源です。停電時でも家電が利用できる負荷です。

⑨ 室内リモコン

表示画面を備えた操作パネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

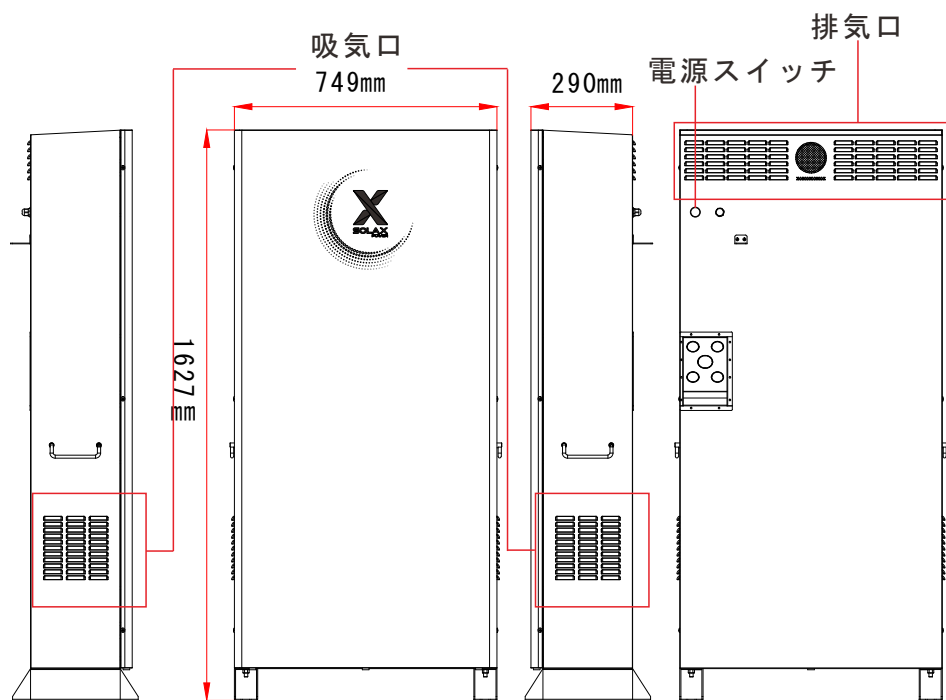
4.3 製品外観図

▶ J1ESS-HB58/J1ESS-HB58-1

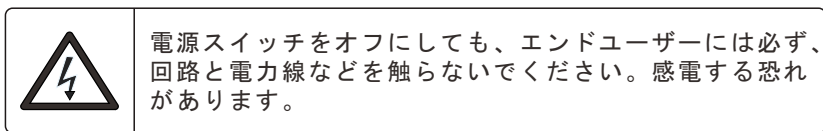


電源スイッチ プッシュ状態	システム稼働中
電源スイッチ フラット状態	システム停止中

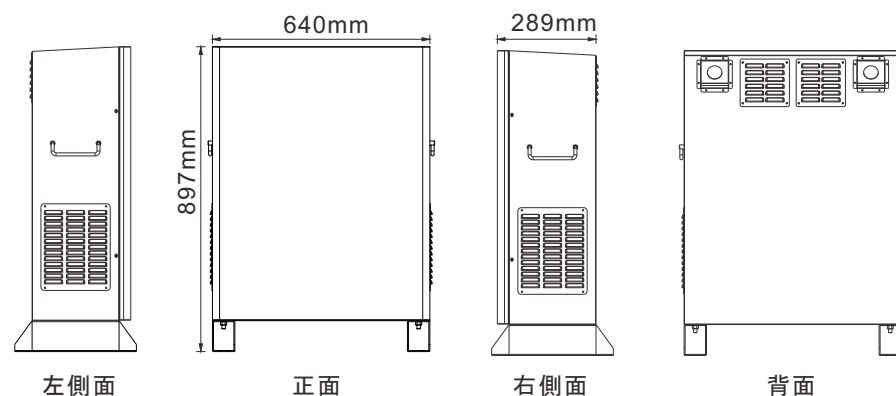
▶ J1ESS-HB58X・J1ESS-HB115・J1ESS-HB173



注:電源スイッチ:筐体背面のボタンを押して、蓄電システムをオン・オフにします。しかし、この時、蓄電システムはまだ系統電源を切っていません。必ず回路とACとEPS線を触らないでください。



▶ 蓄電池



4.4 室内リモコン各部の名称と働き

この製品は、室内リモコンの画面をタッチして操作を行います。



ホーム画面

・ホーム画面

① 運転モード

現在の運転モードを表示します。「APP」と「Cloud」で室内リモコンの運転モードで遠隔制御し、変更できます。運転モードには、停電モード、グリーンモード、経済モード、安心モード、手動モードという5種類のモードがあります。

*ホーム画面一覧

停電モード運転中	停電の場合、システムは自立運転になります。
グリーンモード運転中	連系運転中、グリーンモードになります。
経済モード運転中	連系運転中、経済モードになります。
安心モード運転中	連系運転中、安心モードになります。
手動モード運転中	連系運転中、手動モードになります。
スタンバイ	待機中です。
システムチェック	システム自動点検中です。
ホットスタンバイ	蓄電池に十分な電力量があり、太陽光の発電量が少ない場合で、使用する負荷の電力量が少ない場合には、システムは電池量の損失を減らす為、ホットスタンバイ状態になります。使用する負荷の電力量が多くなった際には、通常運転に切り替わり、蓄電池から電力供給を開始します。
コールドスタンバイ	太陽光の発電量が無く、蓄電池にも十分な電力量の無い場合には、システムは、電池量の消耗を極限まで減らす運転に切り替わります。
故障	故障を検知しています。画面指示に従い、画面操作を行ってください。
システム停止	システムが停止します。
電源スイッチ・オフ	蓄電システム本体背面の電源スイッチが入っていません。

② 日付

現在日時を表示します。

③ 通信状態と警告表示

「通信正常」と「通信中断」の二つの状態を表示します。エラーが発生すると、警告マークが赤色で表示されます。

④ 太陽光発電電力値

蓄電システムに接続している太陽光発電パネルの発電電力を表示します。

⑤ 売電・買電

電力会社からの買電・売電の電力値を表示します。

⑥ 蓄電状況

バッテリーへの出力値と設定されたSOC（蓄電残量（%）表示）が表示されます。バッテリーへの充放電により画像の蓄電量も増減表示します。

⑦ 消費電力

消費電力の合計値が表示されます。

● 起動時の操作方法

システムを起動させるには、11ページの図の様に筐体背面の電源スイッチを押し、蓄電システムが運行の状態になります。室内リモコンを操作してください（出荷時、電源スイッチ・オフ）。

● 通常時の使い方・連系運転

連系運転中の画面
(経済モード運転中の画面例)



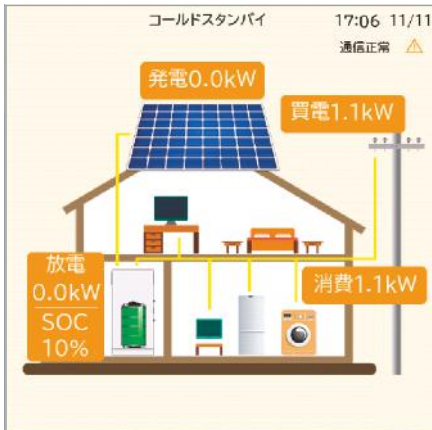


注意：「電源スイッチ」がオフの場合は、蓄電システムが運行停止の状態になりますが、各ポートにはまだ電気を帯びています。

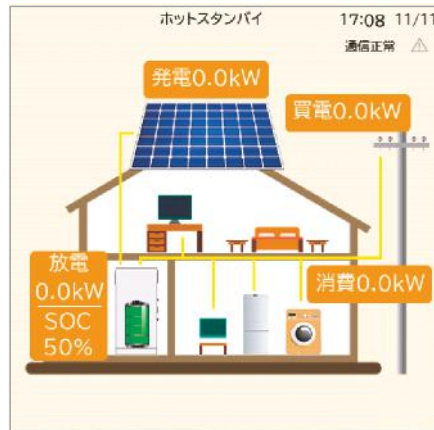
● コールドスタンバイ・ホットスタンバイ

コールドスタンバイとホットスタンバイの画面表示意味はページ14を参照してください。

コールドスタンバイの画面



ホットスタンバイの画面



● 停電時の使い方・自立運転

停電モードでは、画面の左上にベルのアイコンが表示されます。このアイコンを押すと、オン/オフに切替ります。ベルがオン状態の場合、停電モードに切替る際に、4秒毎に1回の通知音でお知らせ致します。

自立運転中の画面
(停電モード運転中の画面例)



● 停電時の家電製品の利用について

■ 重要負荷ブレーカーの定格電流は、J1ESS-HB58とJ1ESS-HB58-1：15 A（片相）以内、J1ESS-HB115・J1ESS-HB173：30A以内とする必要があります。電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、重要負荷ブレーカーで定格を超える電力が使用されると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージが表示され、重要負荷ブレーカーへの給電を停止します。

家電製品の重要負荷ブレーカーへの接続は下記のとおり注意してください。

生命にかかわる商品	接続禁止	医療機器等
途中で電源が切れると不具合を生じる家電製品	接続禁止	パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合があります。	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合があります。	電子レンジ、電気ストーブ等

途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。突入電流が大きい家電製品は一部動作しない場合があります。消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らすなど、非常時兼用コンセントの定格を超えないように工夫してください。もし、安全装置が作動してしまった場合には、室内リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らし、システムを再起動させてください。

■ 停電時、蓄電池の放電のみで、下記容量を連続使用が可能です。

接続家電製品例

冷蔵庫：120 W

液晶テレビ：170 W

リビング用 LED シーリング照明：100 W

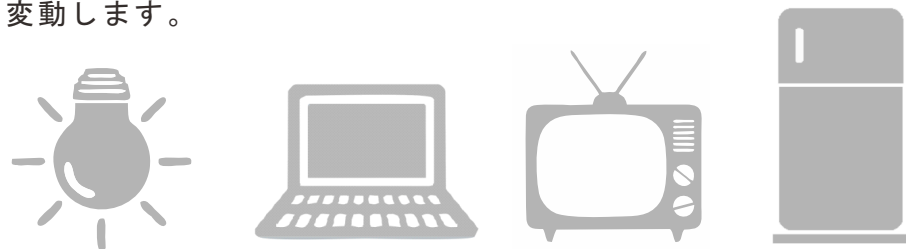
ノートパソコン、ルーター等：30 W

携帯電話充電（2台）：10 W

合計：約 430 W

機種	負荷利用時間
J1ESS-HB58	最大11時間
J1ESS-HB58-1・J1ESS-HB115	最大22時間
J1ESS-HB173	最大34時間

※おおよその目安です。実際の使用では、負荷使用量によって変動します。



リビング用照明

ノートパソコン

テレビ

冷蔵庫

● 復電時の操作

- ・ 停電後復電した場合、蓄電システムは特別な操作は必要ありません。
- ・ 電力会社との協議で定められた時間内（最大5分）は、復電しても停電時の動作になります。復電後電力会社との協議で定められた時間を経過すると、蓄電システムは通常時のモードで動作します。

5 リモコン操作方法

ホーム画面はタッチ操作となります。画面上部に表示されている「>」または「<」のカーソルを操作し、各種設定を行ってください。詳細なインターフェイスには、システムスイッチ、モードの選択、システム状態、情報履歴、画面設定、詳細設定、ユーザー設定が含まれます。

5.1 システムスイッチ



スイッチがオフのとき、画面上のボタンは白になります。



スイッチがオンのとき、画面上のボタンはオレンジ色になります。



システム運行を停止したい場合、システム・オフを押して、「システム運行停止確認」の画面がポップアップします。「OK」を押すと、システム運行を停止します。

5.2 モードの選択

モード選択画面に入ると、運転中の運転モードが画面に表示され、「モードの選択」の右側の「>」を押すと、運転モードの選択、変更ができます。



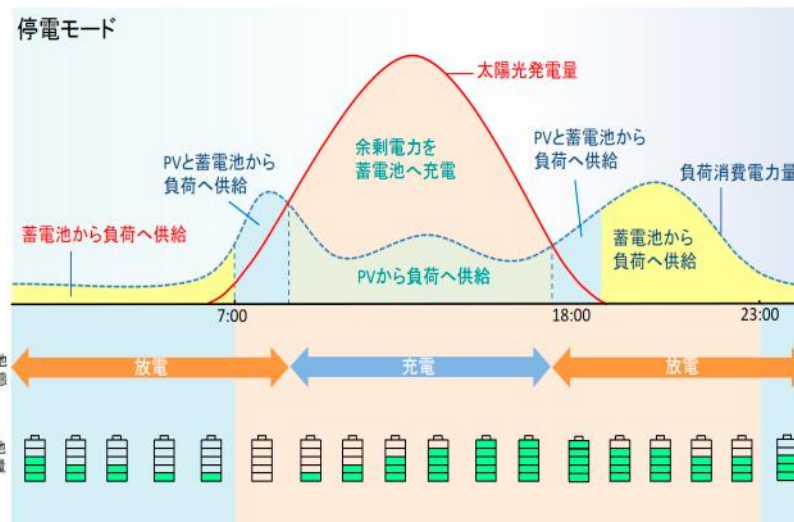
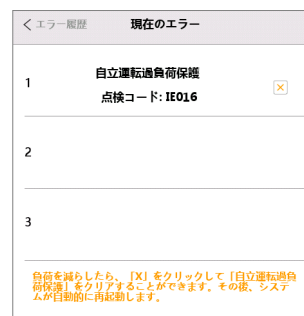
動作モード説明

お客様の生活スタイルや環境にあった下記の4つの動作モードを選べます。停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、自動で停電モードに切り替わり、インバーターに接続している電気製品に給電します。(下記イラストは各蓄電動作モードでの動作イメージです。天候や設定などの条件により変わります。)

・5.2.1 停電モード

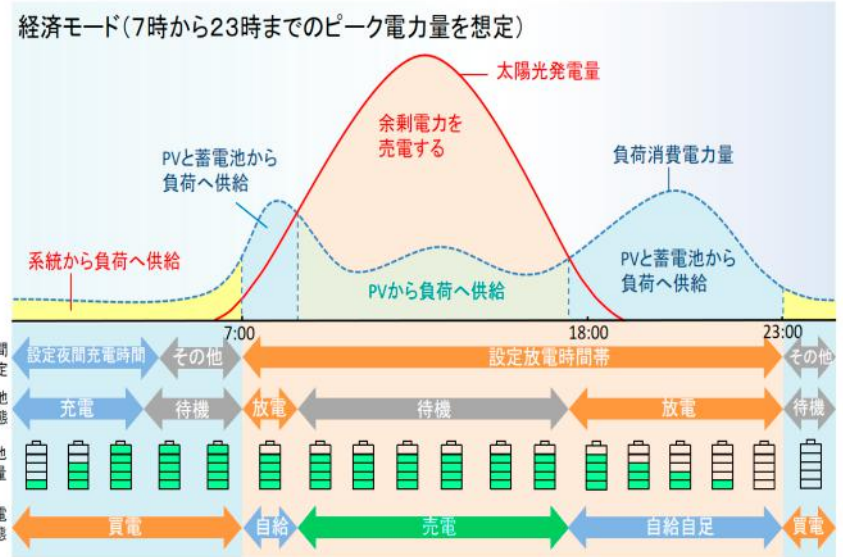
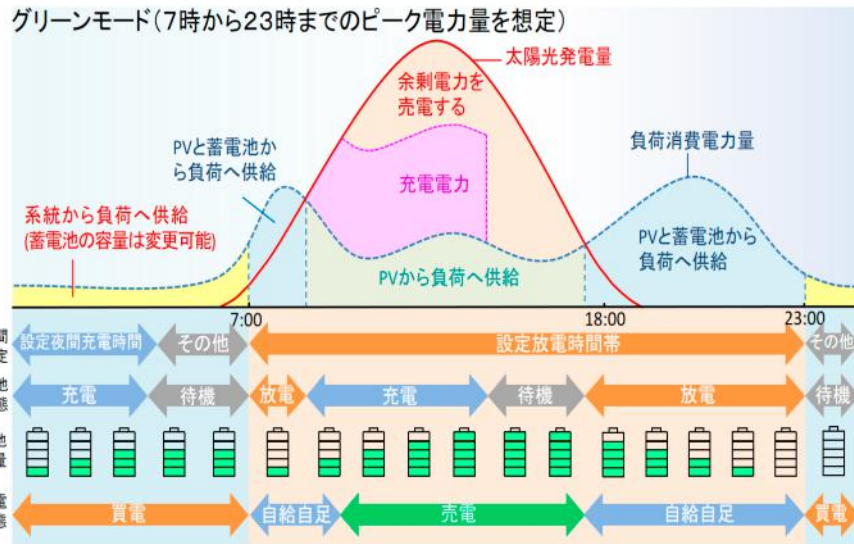
停電が発生すると、システムは自動的に、停電モードに切替ります。

備考：停電モードの場合、特定負荷が過負荷となると、「自立運転負荷保護」のエラーが表示されます。その場合、特定負荷が可能範囲内か確認し、過負荷であれば、一部の負荷を減らし、エラー履歴の現在のエラーに表示されている「自立運転負荷保護」の☒ボタンをクリックし消去することで、システムが正常に再起動します。



・5.2.2 グリーンモード

グリーンモードでは、昼間に余剰電力を蓄電池ユニットに充電し、その電力を夜間などに自家消費します。昼間、太陽光発電パネルで発電した電力を家庭内負荷に供給し、余剰分は蓄電池に充電しておき、夜と朝のピーク時に活用する環境を重視したグリーンモードです。太陽光発電パネルの発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、蓄電池から放電します。蓄電池が満充電の場合は、余剰分を売電します。またシステムからの充電を電気料金が割安な深夜時間帯に行い、放電を昼間の電気料金が割高で電力使用量がピークの時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。

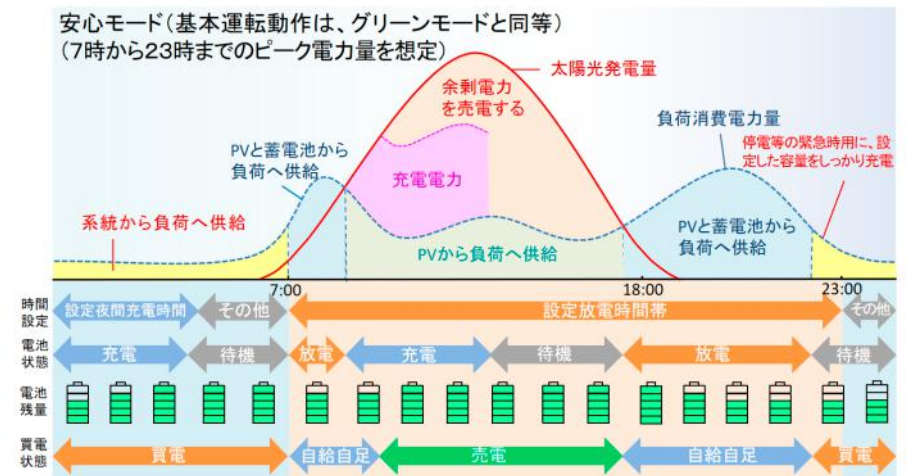


・5.2.3 経済モード

経済モードでは、電気料金の割安な夜間に蓄電池に充電し、電気料金の割高な日中に蓄電池から放電することで電気代を節約します。昼間に太陽光発電の余剰電力を売電している場合には、蓄電池は放電しません。蓄電池への充電は、設定時間帯内にて充電します（充電時間帯設定可能）

・5.2.4 安心モード

安心モードでは、緊急時に安心してお使いいただける様に、一定量の蓄電池残量を確保します。基本運転動作は、グリーンモードと同等です。



経済モード、安心モード、グリーンモードには、以下に示すとおり、各々の特徴があります。

	経済モード	安心モード	グリーンモード
特長	経済的なメリットを優先させます。	停電時に使用できる蓄電残量を優先させます。	太陽光発電の発電電力の余剰分で蓄電池の充電を行うことで、自然エネルギーを有効に活用します。
充電方法	電気料金の安い深夜時間帯に充電します。		太陽光発電の発電電力からご家庭の消費電力を引いた電力分を充電します。夜間充電量を10~100%に設定している場合は、電気料金の安い深夜時間帯にも充電します。
使用できる蓄電量	蓄電残量10%まで使用できます(初期設定値)	蓄電残量50%まで使用できます(初期設定値)	蓄電残量10%まで使用できます(初期設定値)
夜間充電量	深夜時間帯に蓄電残量が100%になるまで充電します。		夜間充電量の設定により、深夜時間帯に充電する蓄電残量が変わります。(最大100%まで)「夜間充電なし」に設定している場合は、夜間充電は行いません。

5.2.5 手動モード

手動モードは、強制充電、強制放電、および強制充放電停止の3つの機能があります。手動モードは、基本的に、保守従事者のみが利用可能です。

■ 手動充電：

時間帯に関係なく、蓄電池へ充電を行うモードです。手動充電の場合、システムは、最大電力で蓄電池へ充電します。満充電になるまで充電を行い、充電満了後、蓄電池は、充放電停止状態になります。

■ 手動放電：

時間帯に関係なく、蓄電池から家庭内負荷へ放電を行うモードです。手動放電の場合、システムは最大電力で蓄電池から放電します。完全放電後、蓄電池は、充放電停止状態になります。

■ 充放電停止：

時間帯に関係なく、蓄電池の充放電を行わないモードです。太陽光発電はまだ行っています。本製品以外の太陽光発電はそれぞれ操作を行ってください。注) 手動運転モードに設定し、6時間無操作となると、自動的に、手動運転モード設定前に使用していた運転モード(経済モード、安心モード、グリーンモードのいずれか)に切り替わります。

蓄電池が使用できなくなることを防ぐため、放電や待機に設定をした場合でも以下のとりの動作を行います。

- 充電量が少なくなった場合は、直前に設定されていた自動運転モードの充電開始時刻から充電を開始します。
- 手動モードを設定してから6時間経過後に、直前に設定されていた自動運転モードに切り替わります。

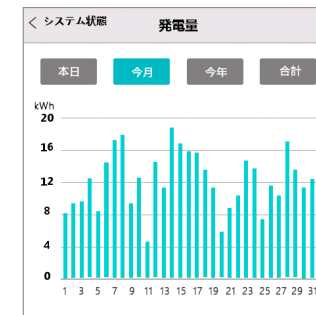


5.3 システム状態

システム状態には、発電量、買電量、売電量、蓄電池残量、太陽電池 (PV1、PV2)、バッテリー情報、AC、CTサンプリング、EPSといった部分のリアルタイムパラメータを表示しています。

・ 発電量

本日、今月、今年と合計の発電量を表示しています。



システム状態 発電量			
本日	今月	今年	合計
本日累計			8.3kWh
今月累計			356.0kWh
今年累計			4754.0kWh
設備累計			12345.0kWh

・買電量

本日、今月、今年と合計の買電量を表示しています。



項目	値
本日累計	4.5kWh
今月累計	116.0kWh
今年累計	1443.0kWh
設備累計	1765.0kWh

・売電量

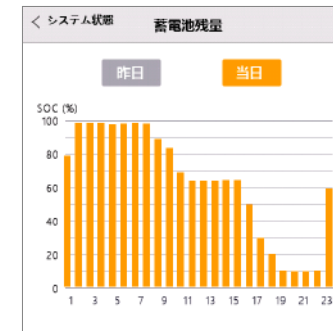
本日、今月、今年と合計の売電量を表示しています。



項目	値
本日累計	4.6kWh
今月累計	196.0kWh
今年累計	3120.0kWh
設備累計	6780.0kWh

・蓄電池残量

昨日と当日24時間の残量を示しています。



・グラフ

太陽電池 (PV1、PV2)、蓄電池情報、系統連系、CT検知、自立運転のデータ情報が見られます。

経済モード運転中 19:17 04/16

システムスイッチ モード選択 システム状態

発電量

買電量

売電量

蓄電池残量

グラフ



システム状態 グラフ

PV 蓄電池 系統連系 自立運転

	電流	電圧	電力
PV1	6.5A	230.0V	1495W
PV2	6.2A	225.0V	1395W

<システム状態 グラフ

PV 蓄電池 系統連系 自立運転

蓄電池	電流	電圧	電力
	10.9A	110.0V	1200W
温度	容量	蓄電池状態	
26°C	50%	接続済み	



<システム状態 グラフ

PV 蓄電池 系統連系 自立運転

CT検知	電力1	電力2	
	-3W	-2W	
AC	電圧1	周波数1	電流1 電力1
	101.0V	50.10Hz	7.7A 780W
	電圧2	周波数2	電流2 電力2
	101.0V	50.10Hz	7.9A 800W



<システム状態 グラフ

PV 蓄電池 系統連系 自立運転

EPS	電圧1	周波数1	電流1 電力1
	0.0V	0.00Hz	0.0A 0W
	電圧2	周波数2	電流2 電力2
	0.0V	0.00Hz	0.0A 0W

- a、機種名
- b、登録番号
- c、リモコン情報：リモコンバージョン
- d、インバータ情報：
 - DSP：DSPのバージョンを表示します。
 - ARM：ARMのバージョンを表示します。
 - システム製造番号、システム運転時間
- e、蓄電池情報：右側の【>】を押すと、バッテリー情報の詳細画面に入ります。電池の製造番号、メーカー、バージョンがあります。

<本体情報 リモコン情報

リモコンバージョン	V1.01
-----------	-------

<本体情報 インバータ情報

システム製造番号	01234560123456
DSP	V1.00
ARM	V1.01
システム運転時間	0.0H

5.4 情報履歴

①本体情報

情報と履歴には、主に、システムの本体情報、お知らせ一覧、エラー履歴が表示されます。その中、本体情報は下記になります。

経済モード運転中 15:34 03/26

ユーザー設定 画面設定 情報履歴

本体情報

お知らせ一覧

エラー履歴



<情報履歴 本体情報

機種名	a	J1ESS-HB58
登録番号	b	0123401234
リモコン情報	c	>
インバータ情報	d	>
蓄電池情報	e	>

<お知らせ一覧

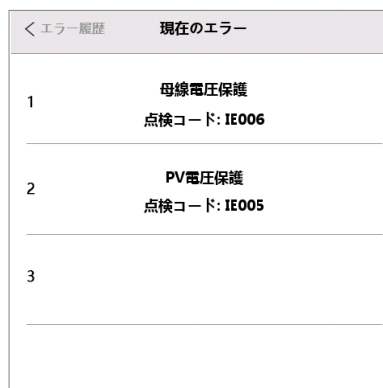
1	20-01-01 08:08	システム停止
2	20-01-01 09:09	システム運転
3	20-01-01 10:10	経済モード切換え
4	20-01-01 11:11	グリーンモード切換え
5		
6		

②お知らせ一覧

全ての操作内容と、操作発生時間が表示されます。

③エラー履歴

エラー履歴が表示されます。確認したいエラーを押すと、エラー内容の詳細が表示されます。



5.5 画面設定

画面設定では、以下の調整ができます。

- ・日時
- ・スクリーンスリープ：
スクリーンオフの時間を設定できます。
「”」は秒を意味し、「′」は分を意味します。
- ・操作音オン/オフ：

操作音をオン・オフします。ボタンが灰色の場合はオフ、ボタンがオレンジ色の場合はオンとなります。

- ・画像の明るさ：
丸いボタンを左右に移動させることで、画像の明るさを調整できます。
- ・言語：
日本語 / 中国語を選択可能です。



日時の右側の【>】を押すと、時間設定画面が表示されます。中央ボックス内に、目的の時間にカーソルを合わせ、日時を設定してください。設定が完了したら、右上の【OK】を押して、時間設定を完了させてください。

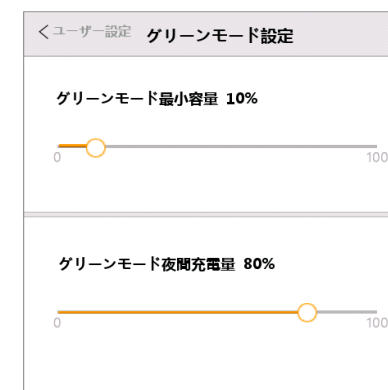
5.6 ユーザー設定

ユーザー設定にはグリーンモード設定、経済モード設定、安心モード設定、充放電時間帯設定、契約電流、停電モードミュート設定があります。



項目	初期設定値
安心モード最小容量	50%
充電時間帯開始	23:01
充電時間帯終了	07:00
放電時間帯開始	07:01
放電時間帯終了	23:00
グリーンモード最小容量	10%
グリーンモード夜間充電容量	50%
経済モード最小容量	10%
契約電流	J1ESS-HB58、J1ESS-HB58-1 : 30A J1ESS-HB115、173 : 60A

・5.6.1 グリーンモード ▶設定



グリーンモード最小容量 :

放電量の最小値を設定出来ます。蓄電池容量が設定値より少なくなると、放電を停止します。この時点で太陽光発電も無い場合には、システムはコールドスタンバイ状態になります。

グリーンモード夜間充電量 :

充電時間帯に、蓄電池の蓄電残量を何%まで充電するかを設定します。設定で経済モード・安心モードを選択している場合の初期設定値は100%になります。(設定は変更できません。)例えば、蓄電残量は80%に設定した場合、充電時間帯内に蓄電池残量80%となるまで充電します。

・ 5. 6. 2 経済モード

▶ 設定



経済モード最小容量：

放電時に使用できる蓄電残量の下限值（％）を設定します。放電中に設定した蓄電池残量の下限值まで達すると、蓄電池ユニットの放電が停止します。電池のSOC（電池蓄電容量の制限値）を設定することができます。円形のボタンを押しながら、左右に移動させ、蓄電容量のパーセンテージ値を調整します。調整可能範囲は10%から100%となります。

・ 5. 6. 3 安心モード

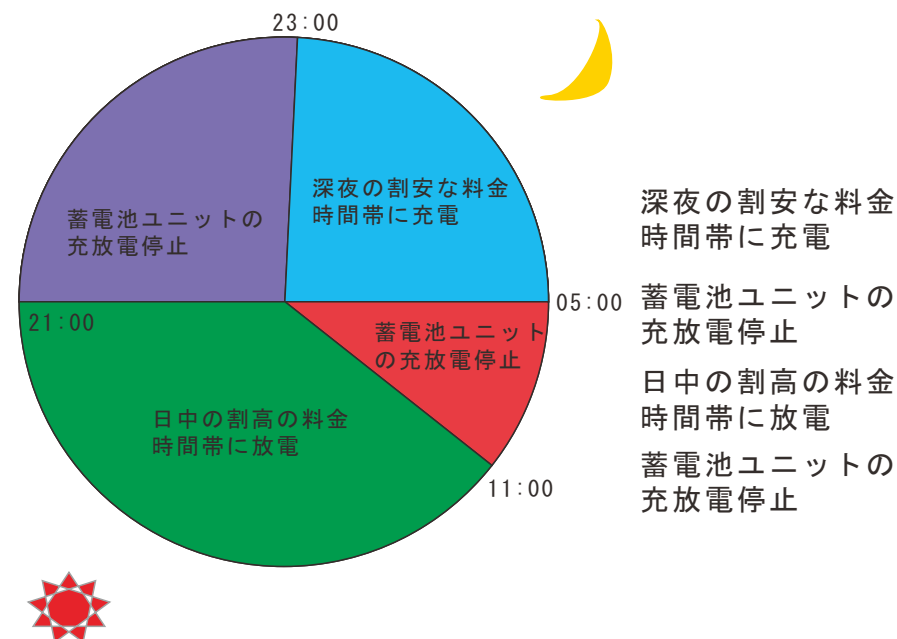
▶ 設定（最小容量は50%を設定します。）



電池のSOC（電池蓄電容量の制限値）を設定することができます。円形のボタンを押しながら、左右に移動させ、蓄電容量のパーセンテージを調整します。SOCの初期設定値は、50%となっております。調整可能範囲は、30%から100%になります。例えば、初期設定値50%の場合、蓄電残量が50%になるまでは、太陽光発電の発電電力やご家庭の消費電力に合わせて放電し、蓄電残量が50%になると放電を停止します。放電停止後、蓄電池ユニットは充放電時刻設定で設定した充電時間帯になるまで待機状態になります。

・ 5. 6. 4 充放電時間帯設定

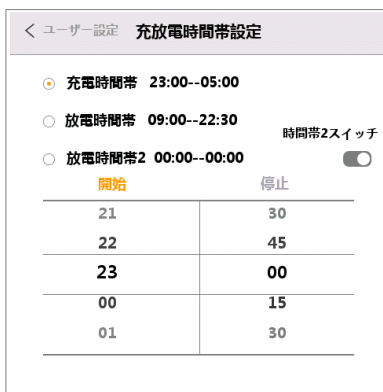
● 製品出荷時の初期設定値は下記のとおりです。
 [充電開始/停止時刻] 23:01~07:00
 [放電開始/停止時刻] 7:01~23:00



上記のグラフの様に、深夜/日中/朝夕と3つの時間帯に分かれた電気料金プランの場合、深夜に充電時間帯を設定することにより、割安な料金で蓄電池に充電ができます。また、日中に放電時間帯を設定することにより、割高な料金の時間帯には蓄電池から放電します。

- 充電時間帯設定は、蓄電動作モードが「経済」、「安心」、「グリーン」すべてで有効です。
- 充電時間帯は、ご契約されている電力会社の深夜電力時間帯（電気料金が安い時間帯）に合わせて設定してください。
- 時間帯別の電気料金については、ご契約されている電力会社にご確認ください。

下の図のように、蓄電池へ充電する時間帯と蓄電池から放電する時間帯を設定できます。



▶ 注意事項 :

● 充電時間帯と放電時間帯は重複しないように設定してください。充電時間帯と放電時間帯重複すると、充電を優先とします。

● 充放電時間帯の開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定すると、この時間帯が無効になります。例えば、充電時間帯を12:00~12:00に設定すると、無効になります。

● 充放電時間帯の範囲は「開始時刻 ≤ 充放電時間帯 < 終了時刻」となります。例えば、充電時間帯を9:00~10:00に設定した場合、10:00は充電時間帯の対象外です。

・ 5.6.5 契約電流



電力会社との契約電流が変更になった場合は、契約電流の設定を変更してください。契約電流は、必ず電力会社と契約しているアンペア数に合わせて設定してください。間違えて設定すると、主分電盤のブレーカーの誤動作や、蓄電池の充放電に、悪影響を及ぼす可能性がありますので、ご注意ください。



設定方法：「契約電流」をタッチして、設定画面に入ります。「契約電流10A」は、現在設定されている契約電流が、10アンペアであることを表示しています。この表示画面にて、新たに契約された契約電流のボタンを選択して、設定を完了させて下さい

・ 5.6.6 停電モードミュート設定



停電が発生した際に、自動で自立運転に切替ったことをお知らせする4秒毎に1回の通知音を、ミュート設定できます（通知音を鳴らなくさせることができます）

5.7 詳細設定

その他の詳細設定の機能は、販売店及び設置業者のみが設定可能となります。

5.8 ソフトウェア更新

ソフトウェアの更新は、遠隔操作で行います。詳細のご確認は、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご確認下さい。

6 こんな時は

- ・スイッチ信号やブザーが鳴った時
ブザーが鳴った時は、室内リモコンの画面に表示されるメッセージの内容に従って、処置してください。
- ・機器から発生する音について
以下に表記する音は、本製品の異常ではありません。

ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 (運転開始時と、停止時に発生します)
ブーン音	ファンの音です。

注意事項：運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

- ・アンペアブレーカーが頻繁に落ちる場合
60Aまでのアンペアブレーカーが設置されているご家庭で、アンペアブレーカーが頻繁に落ちる場合は、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご相談下さい。
- ・アンペアブレーカーの容量を変更する場合
アンペアブレーカーの容量を変更する場合は、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご相談ください。

・室内リモコンの画面が表示されない場合
停電状態以外で、室内リモコン画面が表示されない場合は、室内リモコンが故障している可能性があります。その際には、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡下さい。

室内リモコン画面が表示されない場合には、蓄電池の残量不足或いは、インバーターの電源が入っていないことが原因となる場合もあります。

「停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合」の処置を行っても室内リモコンが表示されない場合は、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご相談下さい。

・長期不在の場合
長期不在となる場合には、運転モードを「経済モード」、「グリーンモード」、「安心モード」のいずれかに設定し、蓄電用分電盤の「連系ブレーカー」と住宅用分電盤の「契約ブレーカー」は「ON」の状態でご維持してください。

・風水害または地震時の対応
風水害時に、水没のおそれのある時には、あらかじめリモコンのシステムスイッチ或いは本体のスイッチをオフにし、蓄電システムの運転を停止させて、連系ブレーカーも、「OFF」にしてください。(※)

また、水没した場合には、リモコンのシステムスイッチ或いは本体のスイッチをオフして蓄電システムを停止させて、連系ブレーカーを「OFF」にした状態で、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡下さい。
地震の場合は、被害状況に応じて、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡下さい。
また、蓄電池が転倒した場合には、リモコンのシステムスイッチ或いは本体のスイッチをオフにし、蓄電システムの運転を停止させて、連系ブレーカーを「OFF」にした状態で、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡下さい。

7 保証とアフターサービス ・クラウド登録

本製品のご購入後、下記のウェブサイトよりユーザー登録してください。このウェブサイトよりご購入いただいた商品の電力量などの各種データをご覧いただけます。

<https://www.solaxcloud.com/>（言語を日本語に選択し、ご利用ください）



・「お客様情報」ウェブサイト登録

1) 以下URLにアクセスしてください。

<https://www.solaxcloud.com/#/warranty>

2) 以下の該当情報をご入力ください。（* 印は必須入力項目です）

氏名

設置住所*

郵便番号*

電話番号*

設置日付*

販売元・設置業者*

国*

選んでください

製品型式*

選んでください

シリアル番号*

メールアドレス*

バッテリーシリアル番号*

保証延長番号*

プロモーションコード*

送る

3) 入力完了後、「送る」ボタンにて送信してください。

4) お客様情報を確認次第、保証登録完了メールを送信致します。

・保証について

保証については、保証書の内容をよくお読みください。

保証書の発行は、設置工事完了後に設置業者が発行する「設置完了報告書」とウェブサイトにご登録いただいた「お客様情報」の内容を照合し、確認が取れ次第、保証書が発行されます。

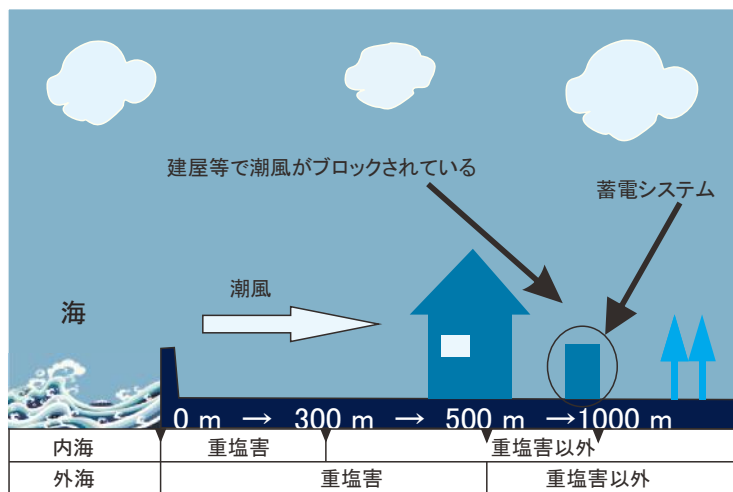
安全のために必ずお守りください

- 1) 商品をご使用前に、取扱説明書をよくお読みください。ご不明な点は、お買い上げの販売店若しくは設置業者にご相談の上、ご使用ください。
- 2) 人命に直接かかわる医療機器などへの接続は絶対に行わないでください。
- 3) 心臓ペースメーカー及びICDをご利用されている方は、充電中及び給電中の機器本体部からの電磁波が、心臓ペースメーカー及びICDの作動に影響を与える場合がありますので、充電中・給電中の本商品に近づかないでください。
- 4) 商品を本来の充放電以外の用途に使用することは、危険ですので絶対に行わないでください。

■ 塩害地設置について

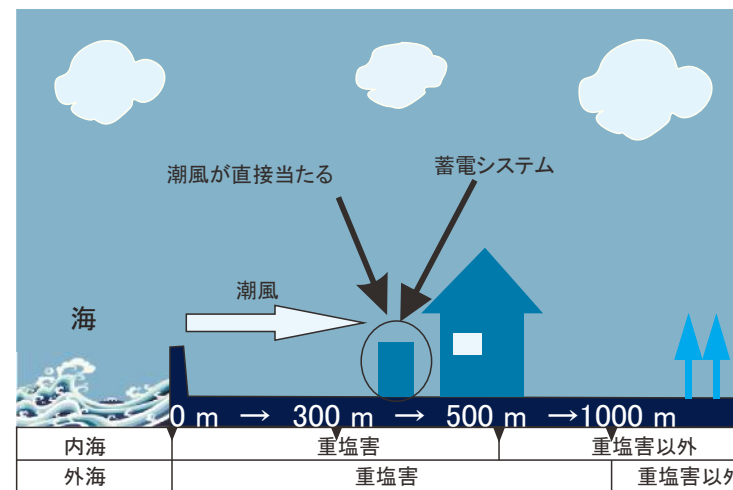
本蓄電システムの設置可能な場所を、次のように定めています。本蓄電システムは、以下説明の区分における【重塩害】となる場所への設置は不可能となります。塩害レベルは、下記のように「重塩害」と「重塩害以外」で区分しています。

- 直接潮風は当たらないが、その雰囲気内にある場所。



* 内海：瀬戸内海、東京湾、伊勢湾
外海：内海以外の海

● 直接潮風が当たる場所



* 内海：瀬戸内海、東京湾、伊勢湾
外海：内海以外の海

・アフターサービスについて

- ご不明な点や修理に関するご相談は、販売店若しくは設置業者へお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合には、次のことをお知らせください。
お買い上げ時期
装置の型式と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
故障の状況（エラー履歴、故障発生時の時間と天候状況など）
- 補修用性能部品の最低保有期間
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
補修用性能部品の最低保有期間は、販売終了後から10年間となります。
- 移設等で機器を一時保管される場合には、屋内（湿気の少ないところ）に保管してください。
お客様ご自身での移設は厳禁です。必ず、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご相談ください。

8 技術仕様

住宅・施設用 屋外設置型

用途

品番	J1ESS-HB58/J1ESS-HB58-1	J1ESS-HB58X/115/173
太陽光直流入力		
最大入力電圧(DC)	450V/回路	450V/回路
MPPT回路数	2回路	3回路
定格入力電圧(DC)	330V	330V
最大入力電流	14A/回路	14A/回路
MPPT範囲(DC)	70-450V	70-450V
MPPT最大効率	99.9%	99.9%
交流出力(連系運転時)		
電気方式	単相3線式	単相3線式
定格出力有効電力	3kW	5.9kW
定格出力電圧	AC202V	AC202V
定格出力周波数	50/60Hz(自動判別)	50/60Hz(自動判別)
定格出力電流	14.9A	29.2A
自立運転出力(停電時)		
定格出力有効電力	3kW	5.9kW
定格出力電圧	AC101/202V	AC101/202V
定格出力周波数	50/60Hz(自動判別)	50/60Hz(自動判別)
蓄電池ユニット		
電池種類	リン酸鉄リチウムイオン電池	リン酸鉄リチウムイオン電池
電池搭載容量	5.8kwh/11.5kwh	11.5kwh/17.3kwh
サイクル寿命	8000回(@80%DOD/25°C/0.5C充放電、60%EOL)	
塩害地設置	可能(重塩害地域は不可能)	
室内リモコン		
寸法	90.7*90.7*27.9mm	90.7*90.7*27.9mm
通信方式	RS485	RS485
動作環境(室内)	-20°C~70°C	-20°C~70°C
環境条件		
防水防塵レベル	IP65	IP65
PCS使用温度範囲	-25°C~45°C	-25°C~45°C
電池使用温度範囲	-10°C~55°C (充電範囲:0°C~55°C、放電範囲:-10°C~55°C)	

品番	J1ESS-HB58/J1ESS-HB58-1	J1ESS-HB58X/115/173
環境条件		
使用湿度範囲	0~100%	0~100%
使用標高	<2000m	<2000m
PCS保管温度範囲	-30°C~70°C	-30°C~70°C
電池保管温度範囲	-20°C~55°C	-20°C~55°C
騒音レベル	<30dB	<30dB(ファン未稼働時) <40dB(筐体内温度35°C以上にてファンが自動稼働時)
外観		
冷却方式	自然空冷	強制空冷
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式	非絶縁トランスレス方式
外部通信方式	CT、Pocket Wi-Fi(オプション)、Pocket LAN(オプション)、RS485、USB、室内リモコン	
保証期間	10年	10年
外装ケーシングサイズ(mm)	W749*D289*H1627 W640*D289*H897	W749*D289*H1627 W640*D289*H897
筐体重量(正味重量)	54kg	54kg
PCS重量(正味重量)	24kg	31kg
蓄電池重量(正味重量)	72kg	72kg
増設蓄電池重量(正味重量)	68.5kg	68.5kg
増設蓄電池筐体重量(正味重量)	29kg	29kg
総重量(正味重量)	150kg/247.5kg	157kg/254.5kg/352kg

※PCS使用温度は45°C以上ディレーティングです。

※蓄電池使用温度は-10°C~0°Cの場合、SOC20%までしか放電できない。

9 故障とトラブルシューティング

※対処方法の中には、「システム・オフ」は室内リモコンで「システム・オフ」をタッチする操作を意味する。「再起動」は室内リモコンで「システム・オフ」をタッチする、機器を起動させる意味です。

蓄電システムが故障する時、家庭に入る系統連系ブレーカーは保護ブレーカーより保護されます。下記の確認が終わった後、一時間内でお買い上げの販売店若しくは設置業者、アフターサービスへご連絡ください。

点検コード	故障	対処方法
IE001	ハードウェア 過電流保護	1.「システム・オフ」にして、再起動してください。 2.再びエラーが発生する場合、室内リモコンで「システム・オフ」を押し、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE003	主電源 電圧保護	1.室内リモコンの「システム状態」で、電圧が正常範囲内であるかの確認が必要です。 2.室内リモコンの詳細設定で、「保護機能設定値」を正しく設定されているかを確認してください。 (パスワード必要) 3.これらの確認を行っても、再びエラーが発生する場合には、「システム・オフ」にして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE004	主電源 周波数保護	1.室内リモコンの詳細設定で、「保護機能設定値」を正しく設定されているかを確認してください。 (パスワード必要) 2.これらの確認を行っても、再びエラーが発生する場合には、「システム・オフ」にして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE005	PV電圧保護	1.室内リモコンのシステム状態で、最大入力電圧が、450Vを超えていないかを確認してください。 2.これらの確認を行っても、再びエラーが発生する場合には、「システム・オフ」にして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE006	母線電圧保護	1.室内リモコンのシステム状態で、最大入力電圧が、450Vを超えていないかを確認してください。 2.「システム・オフ」にして再起動してください。

点検コード	故障	対処方法
IE006	母線電圧保護	3.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE007	蓄電池電圧保護	1.「システム・オフ」にして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、「システム・オフ」にして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE009	DCI過電流保護	1.「システム・オフ」にして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、「システム・オフ」にして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE010	DCV過電圧保護	1.「システム・オフ」にして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、「システム・オフ」にして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE011	ソフトウェア 過電流保護	1.「システム・オフ」にして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、「システム・オフ」にして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE012	RC過電流保護	1.「システム・オフ」にして、再起動してください。 2.これらの確認を行っても、再びエラーが発生する場合には、「システム・オフ」にして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE013	ISO保護	1.「システム・オフ」にして、再起動してください。 2.再びエラーが発生する場合には、「システム・オフ」にして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE014	過熱保護	1.システムが風通しの良い、非密閉の環境に設置されているかを確認してください。 2.環境温度が、正常運転範囲内であるにもかかわらず、エラーの発生する場合には、「システム・オフ」にして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。

点検コード	故障	対処方法
IE016	自立運転 過負荷保護	1.停電モードでは、負荷が可能範囲内かを確認してください。 2.もし負荷が可能範囲外の場合、部分の負荷を外し、過負荷状態ではないか確認して下さい。再びエラーが出る時、再起動システム・オフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE018	蓄電池 容量不足	1.連系運転モードの場合、蓄電システムが充電時間帯に入ることをお待ちください。 即時に充電する必要な場合、系統電源が停電していないことを確認した上で室内リモコンで手動モードに設定してください。手動充電モードに切り替えてください。 2.自立運転モードの場合、最小容量値が10%(初期設定値)以下になっていないかを確認してください。 3.長期間充電されていない場合は、電量が低すぎるため、蓄電池に充電する必要があります。 4.正常に充電出来ない場合には、システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE020	ファン故障 J1ESS HB 115&173限定	1.システムオフにして、再起動してください。 2.再びエラーが発生する場合には、システムオフにしてお買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE021	低温保護	1.外部温度が低すぎないか確認してください。 2.環境温度は機器正常運転範囲内の場合、システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE025	内部通信障害	1.システムオフにして、再起動して下さい。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE026	インバーター EEメモリエラー	1.システムオフにして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、システムオフにしてお買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。

点検コード	故障	対処方法
IE027	RCD故障	1.システムオフにして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、システムオフにしてお買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE028	グリッド側 リレー故障	1.システムオフにして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE029	自立運転 出力リレー故障	1.システムオフにして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE030	PV逆接続保護	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE031	充電器 リレー故障	1.システムオフにして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE103	ARM EEメモリエラー	1.システムオフにして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
IE104	DSPバージョン 不一致	1.システムオフにして、再起動してください。 2.再起動した後に、再びエラーが発生する場合には、システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。

点検コード	故障	対処方法
BE001	蓄電池 外部通信障害	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE002	蓄電池 内部通信障害	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE003	蓄電池 過電圧保護	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE004	蓄電池 低電圧保護	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE005	蓄電池充電 過電流保護	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE006	蓄電池放電 過電流保護	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE007	蓄電池 高温保護	1.蓄電池の温度が正常な温度範囲内に戻るまでお待ちください。 2.再びエラーが発生する場合には、システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE008	蓄電池 低温保護	1.蓄電池の温度が正常な温度範囲内に戻るまでお待ちください。 2.再びエラーが発生する場合には、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE009	蓄電池セル 電圧差保護	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE010	蓄電池 ハードウェア保護	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE011	蓄電池 回路故障	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。

点検コード	故障	対処方法
BE012	蓄電池 絶縁不良	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE013	蓄電池電圧 センサー故障	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE014	蓄電池温度 センサー故障	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE015	蓄電池電流 センサー故障	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE016	蓄電池 リレー故障	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE017	蓄電池容量 不一致	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE018	蓄電池バージョン 不一致	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE019	蓄電池メーカー 不一致	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE020	蓄電池SW・HW 不一致	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE021	蓄電池ソフトウェア 不一致	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE022	蓄電池に 充電されない	1.室内リモコンでシステム状態で蓄電池に充電することを確認してください。 2.これらの確認を行っても、再びエラーが発生する場合には、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE023	蓄電池スレーブ SW保護	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE024	蓄電池 電圧検知エラー	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。

点検コード	故障	対処方法
BE025	蓄電池 試運転不具合	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE026	蓄電池 温度差障害	システムオフにして、再起動しても、再びエラーが発生する場合には、システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE027	蓄電池 断線障害	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE028	蓄電池メモリ チップ障害	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE029	蓄電池予備充電 失敗	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。
BE030	蓄電池 ブレーカー切断	システムオフにして、お買い上げの販売店若しくは設置業者へご連絡ください。

10 お問い合わせ

お買い上げの販売店若しくは設置業者へお問い合わせください。

【製造元】

SolaX Power Network Technology (Zhejiang) Co., Ltd.

電話 +86 (571) 56260011

住所: No.288 Shizhu Road, Tonglu Economic Development Zone,
Tonglu City, Zhejiang province, China.

【アフターサービス・コールセンター】

SolaX アフターサービス・コールセンター

TEL:03-4520-5068

メール: service.jp@solaxpower.com

【販売店・設置業者】